

は じ め に

少子高齢化を伴う人口減少の加速や、あらゆる分野での人手不足、物価高騰の長期化に加え、国際情勢の不安定化など、本県経済を取り巻く状況は大きく変化しております。そうした中であっても、実質及び名目の県内総生産額はこの10年増加傾向にあり、1人当たり県民所得は直近の令和4年に東北第1位となったほか、令和5年の製造品出荷額等は3兆3,500億円を超えて過去最高額となるなど、本県経済は着実に成長を遂げております。

県としましては、多様な人財が活躍し、国内外で価値を創出し、成長し続ける産業社会の実現に向け、若者や女性が活躍できるクリエイティブ産業の創出・拡大に向けた施策を展開していくとともに、県内経済に波及効果を生む年間売上100億円以上の企業を現在の2倍以上に増やしていくための各種支援や、企業における外国人材の確保に向けた取組の強化などにより、将来を見据え果敢に挑戦する企業を強力に後押しし、本県産業の競争力の源泉である「企業の稼ぐ力」を一層高めてまいります。

また、昨年10月に、米国の有力メディア『ナショナル・ジオグラフィック』の「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に本県が日本で唯一選出されたことも追い風に、本県の強みである精神文化や温泉、雪、山、食といった観光資源を積極的に活用しながら、付加価値の高い観光地づくりを推進することにより、国内外から活力を呼び込み、本県経済の持続的な発展につなげてまいります。

『山形県の商工業』は、県内商工業の現状についてまとめたものです。本冊子が、本県産業の将来を考えるための一助となれば幸いです。

令和8年4月

山形県産業労働部長 遠藤和之

山形県観光文化スポーツ部長 黒田あゆ美